

病院だより 1月号

2022年1月1日 発行

昭和大学横浜市北部病院
通算 第163号

巻頭言 ～ With コロナから、新しい局面へ思いを巡らせ ～

令和4年の睦月を迎え、皆様にとりまして心安らかな一年となりますことを祈念申し上げます。

令和3年春に高齢者から開始したワクチン接種の効果により、COVID-19で入院される患者さんの平均年齢が、夏には70歳代から50歳代後半まで低下しました。第5波の最中、横浜市内中核・基幹病院45施設へ入院中の患者数は850名を超え、中でも人工呼吸管理等を要する重症者は9月3日に88名まで増加しました。この頃、当院コロナ専用病棟には50歳以上だけでなく、30～40歳代の患者さんが次々入院されて計30名を超える中、重症例も数名入院中といった状況で、対応するスタッフの疲弊感は頂点に達しました。



＜病院長 門倉 光隆＞

コロナワクチン接種率は、昨年12月に全国で77%、横浜市で85%を越え、全国65歳以上は91%に達しました。なお、COVID-19罹患後の後遺症が問題視され、対応に苦慮する様子がしばしば伝えられています。新しい治療薬の開発が進められるなど、コロナ征服に近づく様子に多少安堵感を覚える反面、韓国や英国、ロシア、東欧諸国での感染拡大をみると、決して油断はできないと考えています。

これまで感染防御のため、入院患者さんへの面会制限や、正面玄関・時間外入口・西棟渡り廊下などでサーモグラフィによる検温を行い、発熱者への対応を強化するとともに、地下駐車場から病棟へのフリーアクセスを制限いたしました。さらに、緊急を要さない病状と判断した患者さんへの手術や検査入院を一時延期したほか、中央棟9階レストランの一般利用をご遠慮いただくなど、皆様にご不便ご心配をお掛けしておりますが、コロナ完全収束まで、今しばらくご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

当院で働く医師、歯科医師、看護師、助産師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、公認心理師、心理員、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士、保育士、各種事務員、臨床研修医、臨床研修薬剤師、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、CRC、司書、看護補助員、滅菌室員、清掃員、洗濯室員、中央監視室員、警備員、薬品・物品搬送担当者、電話交換手など、学校法人専任職員、臨時・契約・パート職員、派遣・業務委託職員など2,000名を超える全スタッフ一人ひとりが大切な人材であります。日々、持ち上がる課題に「病院全体が一つのチーム」となっており、さらに『至誠一貫』の精神の下、「患者さんと共に実践するチーム医療」に尽力する姿に接し、感謝の念は増すばかりであります。

本年の干支“壬寅”が意味する「厳しい季節を越え、新しい成長の礎」となる病院機能の維持ならびに向上、二人主治医制を軸とした地域医療連携の発展に向けて、更なるご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



P1. 【巻頭言】

With コロナから、新しい局面へ思いを巡らせ

P2～3. 【医学講座】「結核」も忘れた頃にやって来る

【お知らせ】お正月の病院食について

P4. 【お知らせ】

がん相談支援センター・がん患者サロンについて

P5. 患者さんからのご意見・ご要望について

P6. 【お知らせ】開院20周年を迎えました

【編集後記】

【医学講座コーナー】 「結核」も忘れた頃にやって来る

(臨床病理診断科 教授、感染症専門医 木村 聡)

災害は忘れた頃にやって来る。

有名な一節ですが、感染症である「結核」も忘れた頃にやって来ます。新型コロナの後、注目されるかもしれない、「結核」のお話をしましょう。

結核はどんな病気？

結核は結核菌という細菌の空気感染によって起こる全身の感染症です。呼吸を通じて肺に巣喰った結核菌が、血液やリンパの流れに乗り、骨（脊椎カリエス）、消化管（腸管結核）、副腎（副腎結核）など、何ヶ月～何年もかけてジワジワ広がる病気です。他の感染症と別扱いされる理由は、結核菌のしぶとさ、したたかさにあります。

結核菌はどれだけ「しぶとい」か？

- ・表面が丈夫な殻に覆われており、一瞬であれば100℃の高熱にも耐えられる
- ・乾燥に強く、干からびた喀痰（たん）の中で何ヶ月も生きている
- ・白血球に食べられてもその中で生き延びることがある
- ・増殖速度が猛烈に遅いので、感染後、症状が出るまで何年もかかることがあり、培養での検出や治療にも時間がかかる
- ・通常の肺炎で使われる抗生物質の大半が効かない



年間死者数は交通事故の6割強

厚生労働省によると、2020年の結核による死亡数は1,909人で、数で言えば同年の交通事故死者数の6割強に達しました。若い頃、肺結核にかかり、薬や手術で元気になられた方が、ご高齢となり免疫力低下をきっかけに、過去の病巣が再燃する例が多いようです。そう、50年前の病巣でも再燃するのです！骨折や癌の治療で入院され、咳が続いているようなので念のため結核の検査をしたら、何と・・・、ということもあります。まさに「忘れた頃にやって来る」感染症なのです。

治療上のご注意

昔と違って今は結核の飲み薬が開発されています。咳が続くようなら、怖がらずに検査を受けてください。レントゲンや血液・喀痰検査など、21世紀の医療なら、あまり痛い思いをせずに検査できます。早期発見できれば大切なご家族や周囲の人々を、感染の危険から遠ざけることができます。入院期間も昔よりずっと短くなっています。ただ、結核菌は非常にしぶとい細菌なので、半年以上複数の薬を内服するようお願いするのが一般的です。副作用を怖がって薬を減らすと、結核菌は耐性を獲得し、薬が効かなくなってしまう。いったん耐性になると治療は非常に難しくなります。海外ではこのような「耐性株」が問題になっているのです。日本では結核治療に公費の補助がありますので、しっかり飲み切ってください。心配な症状がありましたら、正直に主治医におっしゃってください。



予防の方法

その昔。結核は「労咳（ろうがい）」と呼ばれ、不治の病でした。結核で命を落としたと言われる有名人には沖田総司、正岡子規、樋口一葉、石川啄木、宮沢賢治などがあり、そうそうたる顔ぶれとなっています。頑固な咳に喀血（咳と一緒に血液を吐くこと）という素人にもわかる症状から、自分が不治の病にかかり、あと数年で命が燃え尽きることを悟り、全力で人生を駆け抜けたからこそ偉業を成し遂げたのでしょう。令和の世を生きる私たちには、結核治療薬がありますが、かからないに越したことはありません。結核はコロナ同様、病原体が空気を漂ってうつります。コロナがいなくなっても、咳が出るときは三密を避け、マスクをするなど、咳エチケットを守りたいものです。

参考資料

1) 厚生労働省：2020 年 結核登録者情報調査年報集計結果について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00004.html

（結核に関する種々の統計が詳しく掲載されています）



2) 公益財団法人 結核予防会 結核研究所：結核の常識 2020

<https://jata.or.jp/about.php>

（結核という疾患の症状、予防、治療など一般の方を対象に解説されています）



【お知らせ】お正月の病院食について

新春とは申すものの厳しい寒さが続いております。

（栄養科 森下 美智子）

当院では、1月1日、2日はおせち料理を提供させていただく予定です。おせち料理は、御節句（おせちく）とも言われ節句行事が始まりとされています。重ねた重箱に詰めるのは「福を重ねる、おめでたいことが重なりますように」という願いが込められています。

また、おせち料理にも一つ一つおめでたい意味があるとされています。

黒豆

黒色が魔除けの意味することから邪気払いや、まめに働けるように。

紅白なます

元々、生魚、大根、人参、酢で作っていたため「なます」と言われています。色合いが氷引に似ていることからおめでたい席に並べられる料理。

伊達巻

巻物に似た形から「学問」が連想され、知識や教養が備わるように。

栗きんとん

漢字で栗金団と書かれ「金」という文字が入っていることから生活が豊かになるように。



＜昨年度の献立＞

おせち料理の一部の提供ではございますが、お食事を通じて皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

【お知らせ】 がん相談支援センター・がん患者サロンについて

～がん患者サロン～

がん患者サロンは、がん患者さんやその家族同士が知り合って、悩みや不安を分かち合い、気軽に集う語らいの場です。新型コロナウイルス感染症の影響で開催を休止していましたが、この度再開しました。

【対象】 北部病院通院中のがん患者さん・ご家族

【開催予定日】 2月17日（木）、3月17日（木）

【時間】 14時～15時

【場所】 北部病院 中央棟9階 会議室

【内容】 交流会（当面はミニレクチャーの予定はありません）

【その他】

- ・参加費は無料です。
- ・事前登録が必要です。（開催当日でも登録は可能です。総合サポートセンターへおいで下さい）

サロン当日は、会議室入室前の体温測定、鼻水・咳・咽頭痛などの自覚症状の確認を行い、手指消毒後に入室いただきます。

【お問合せ】

関心のある方、参加をお考えの方は、是非、中央棟1階の100番総合サポートセンターまでお越し頂くか、お電話でご連絡ください。（平日9時～16時、電話：045-949-7000（代表））

～がん相談支援センター～

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※プライバシーを守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院を受診されていない方の相談もお受けしています。

受付時間：月～金曜日（祝日除く）
8：30～17：00

対応時間：月～金曜日（祝日除く）
8：30～17：00

場 所：中央棟1階
総合相談センター・がん相談支援センター



患者さんからのご意見・ご要望について

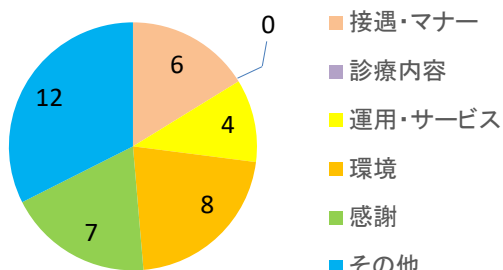
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

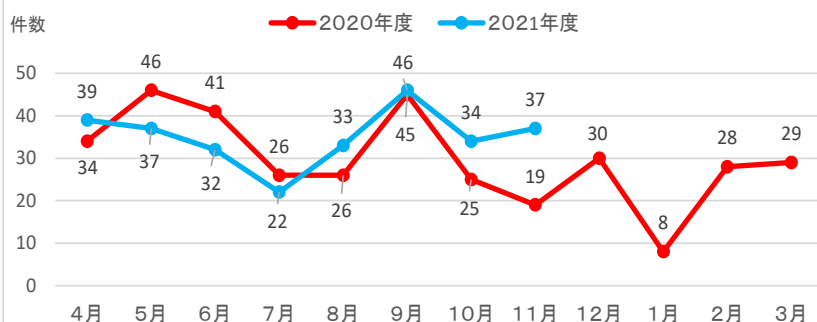
今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
病室に、ペットボトルの回収箱を設置していただきますようお願いいたします。 例えば洗面台の下。 ゴミ箱は、ベッドにそれぞれ備えられています。	貴重なご意見ありがとうございます。 ペットボトルの回収箱について、設置場所や回収の運用も含め、検討してまいります。 (回答部署：管理課)
シャワー室の床面を新しくしてください。 シャワーもグラグラしているしドライヤーも古いです。 時計も止まったままです。	ご意見ありがとうございます。 シャワー室の床面の重点清掃を実施しました。 また、シャワーフックについては、固定のゆるみを確認しましたので、固定作業を行います。 ドライヤーについては、機能面で問題がないことを確認しました。 申し訳ございませんが、今しばらく現状の物をご利用願います。 時計も現在、正常に稼働していることを確認しました。 今後も、お気付きのことがございましたら、担当看護師やヘルパーにお声掛けいただけますと幸いです。 (回答部署：管理課)
2か月に1度来院しています。 足が悪く休みたいので、西棟1階のエレベーターホールところに、椅子を1つか2つ設置してください。	ご意見ありがとうございます。 休憩できる椅子の設置について、検討いたします。 (回答部署：管理課)

2021年11月
ご意見・ご要望の総計37件



2020年度・2021年度
ご意見・ご要望の推移



【お知らせ】開院 20 周年を迎えました



当院は昨年 4 月 1 日に開院 20 周年を迎えました。

開院時には 508 人であった教職員数が、現在では 1200 人を超えるまでに大きくなっています。開院 20 周年を記念して撮影した集合写真には、診療時間内ではありましたが、多くの職員が一堂に会しました。

改めまして、20 年間の皆様のご支援に御礼申し上げます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は無観客の東京オリンピックをはじめ、新型コロナウイルスの色濃い 1 年でした。2022 年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」です。これには厳しい冬を越えて、春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるという意味が込められているそうです。2 年近く新型コロナウイルスに翻弄されてきましたが、本年は明るい年になってほしいと思います。

私の新年の目標の一つは「子供に囲碁を教えること」です。私は高校で囲碁部だったのですが、自分の子供が興味を持つのは、学童で友達とやるオセロと将棋ばかりなので、囲碁の楽しさを子供たちに伝えていければと思います。皆さんは新しい年をどんな年にしたいでしょうか。

最後になりますが、今年も「病院だより」のご愛読をお願い申し上げます。

（地域医療連携室 課長 秋山 直之）



北部病院だより 第 163 号
2022 年 1 月 1 日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。